

# 堀川水環境改善に向けた取り組み

## 名古屋市による施策

平成24年2月25日

名古屋市緑政土木局河川部河川計画課

# ■新たな水源の確保

- ◆ 下水再生水の活用  
守山水処理センターで、  
膜ろ過された下水再生水を活用し、  
日最大4,000m<sup>3</sup>堀川へ通水する。



※通水期間は、概ね灌漑期(4月～10月)  
(庄内用水路に通水を行う期間(11月～3月)を除く)



# ■新たな水源の確保 地下水利用の調査検討

- ◆守山区瀬古の堀川左岸  
堀川上流部での浅層地下水の利用について、  
その可能性を調査検討



(平成24年2月下旬より揚水調査)

## ■水辺空間の形成 遊歩道の整備

### ◆中土戸橋上流の堀川左岸

堀川と名城公園が一体となるような水辺空間を形成するため、護岸整備にあわせて遊歩道や植生を設置。

(平成23年11月完成)

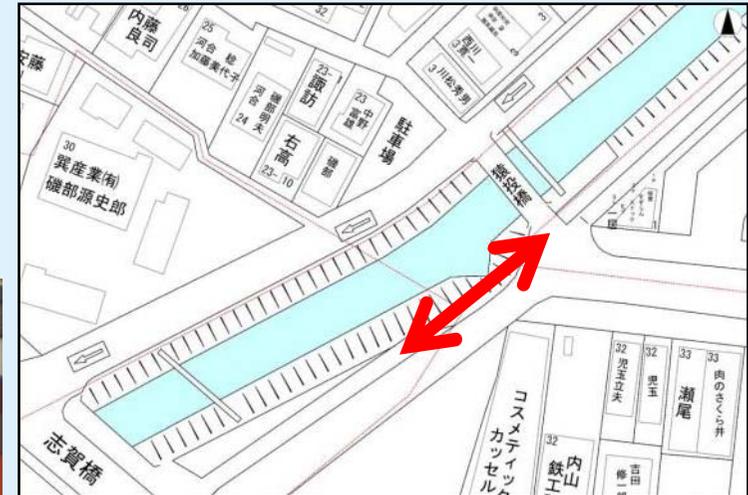


# ■水辺空間の形成 遊歩道の整備

- ◆猿投橋～志賀橋間の堀川左岸  
夫婦橋～田幡橋間2.2kmの堀川沿いを連続的に利用できるようにするため、遊歩道を整備。



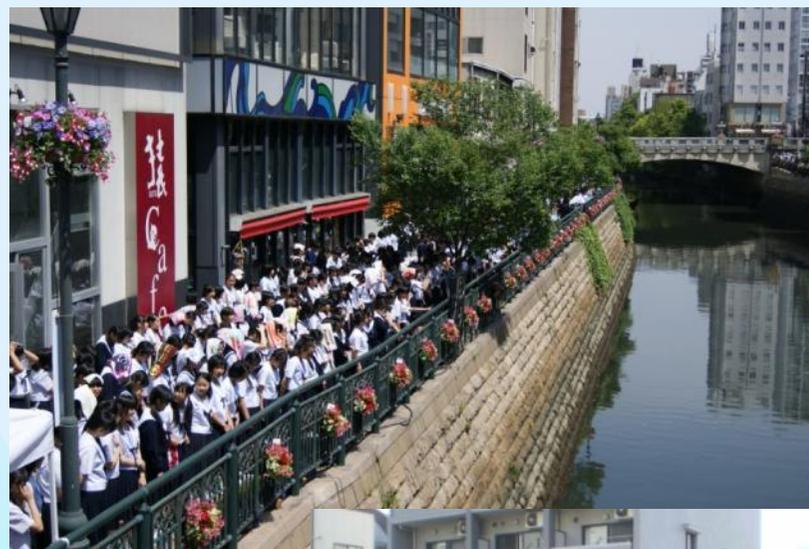
(平成24年3月完成予定)



# ■にぎわいづくり イベントの活動支援

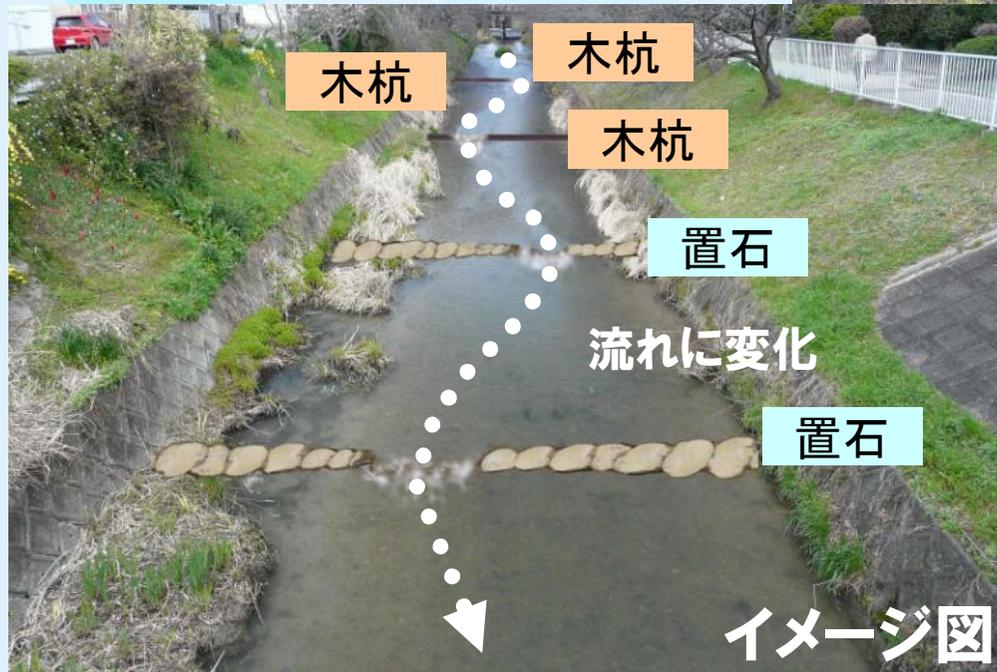
## ◆イベントへの参加

春のフラワーフェスティバル、  
秋のウォーターマジックフェスティバルの実行委員会に参加



# ■水質の向上 瀬淵の形成

- ◆堀川上流部（順流区間）  
木杭や捨石の設置によって単調な流れに変化を持たせ、植生を設置しながら川の自浄機能の向上を図っていく。



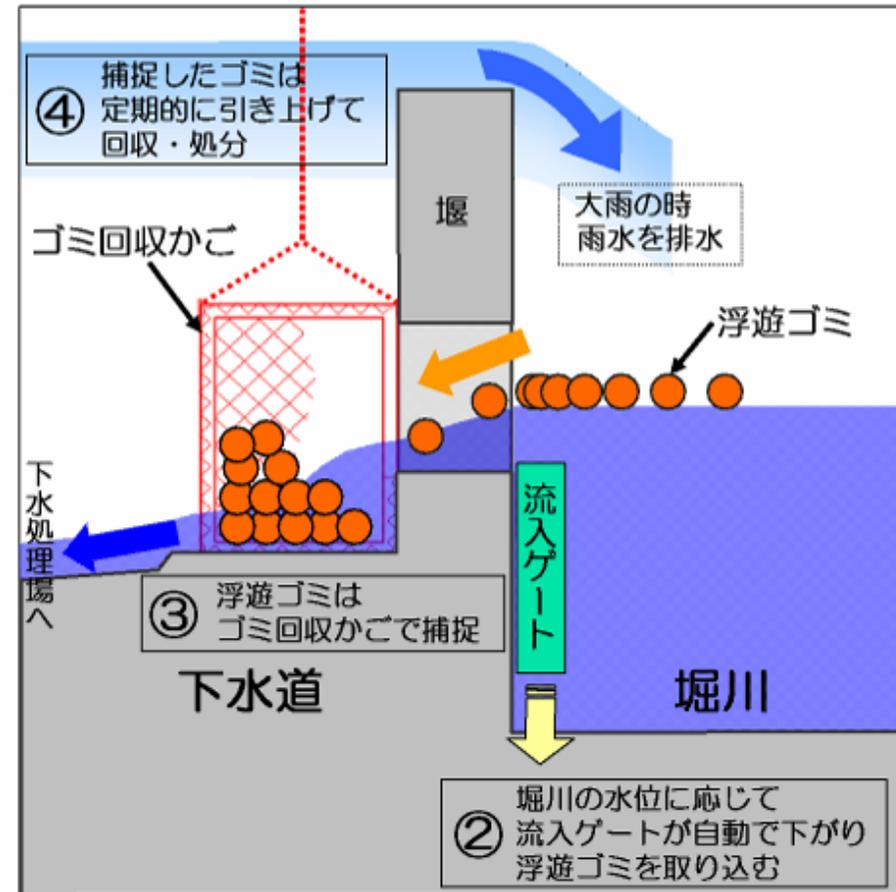
# ■汚濁の除去・流入削減 浮遊ゴミ除去方法の調査

## ◆堀川中下流部での浮遊ゴミ除去 流下と遡上を繰り返し対流する浮遊ゴミの除去方法の検討

☆下水道の雨水吐き（堰）を改造して流入ゲートとゴミ回収かごを設置



施設の設置状況



断面図（イメージ）

# ■汚濁の除去・流入削減

## 合流式下水道の改善（雨天時）

### ◆貯留施設の整備

汚濁負荷の高い初期雨水の流出の抑制、雨水吐の越流頻度の低減を図り、雨天時における急激な水質悪化の軽減、河道内に滞留する汚濁負荷の軽減によるヘドロの発生抑制を目指して、雨水滞水池を順次建設

#### 大曾根雨水調整池

(12,000m<sup>3</sup> 18年度稼働)



#### 堀川右岸雨水滞水池

(13,000m<sup>3</sup> 22年度稼働)



#### 堀川左岸雨水滞水池 (14,000m<sup>3</sup> 建設中)